当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】
人工知能を用いた COVID-19 肺炎の重症度トリアージシステムの開発

【目的】
現在の世界的な緊急課題である COVID-19 感染症が日本でも大都市を中心に感染拡大しており、医療崩壊の危機に瀕しています。そこで、可及的速やかに、COVID-19 感染症患者の重症度予測システムを構築して、軽症の患者と重症者及び重症が予測される患者を個別に判別するシステムが必要です。本研究開発では、COVID-19 感染患者さんの臨床情報や検査情報を収集し、その情報もとに人工知能で開発したシステムを用いて重症度の予測を行うトリアージシステムの構築をすることを目的としています。

【対象】
2020 年 1 月～2025 年 3 月の間に当院で COVID-19 と診断された方

【方法】
診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、データおよびレントゲンや CT 画像をクラウド型文書管理システムへ登録します。登録したデータは研究事務局（東京大学医学部附属病院 血液腫瘍内科）において保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】
収集した情報・画像は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】
診療記録（年齢、性別、身長、体重、血圧、体温、症状、入院日、基礎疾患、SARS-CoV-2 検出日、COVID-19（肺炎）の重症度、血液検査、レントゲン、CT 等の検査記録、抗ウイルス薬による治療の内容、治療への臨床的反応、体温、血圧、酸素化などの経過、合併症、重症化の程度、人工呼吸器の使用の有無、入院期間 等）
画像（胸部レントゲン、胸部 CT）

【研究期間】
倫理委員会の承認が得られてから 2025 年 6 月 30 日まで

【研究代表者】
東京大学医学部附属病院　血液腫瘍内科　田岡 和城

【共同研究機関】
藤田医科大学、藤田医科大学 岡崎医療センター、横浜市立市民病院、埼玉県立循環器呼吸器センター
永寿総合病院、横浜国立大学、キッコーマン総合病院、越谷市立病院、帝京大学医学部附属病院
日本赤十字社医療センター、横浜市立みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、藤沢市民病院
Department of Emergency Medicine, Montefiore Medical Center, Albert Einstein College of Medicine

【当院の研究責任者】
感染症内科　立川 夏夫

【連絡先】
横浜市立市民病院　〒221-0855　横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-316-4580（病院代表）　感染症内科　立川　夏夫

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。
また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。